

先端画像処理・ロボティクス特論 第一回 課題

学番・氏名

AL15069 小野義基

共同作業者

- AF15043 坂内力
- AF15045 佐藤康平

元画像と出力画像 (一例)

- 元画像:

ソースコード等フォルダの構成

```
ソースコード等/  
├ 1st.cpp      `グレースケール、ヒストグラム、2値化画像などの処理`  
├ bitmap_manager.cpp    `bmp画像の読み書きなどを管理するクラス`  
├ bitmap_manager.hpp    `bitmap_manager用のヘッダ`  
├  
├ src/  
│   ├── img.bmp        `元画像1`  
│   ├── img2.bmp       `元画像2`  
│   └── img3.bmp       `元画像3`  
├  
├ dst/  
│   ├── img_gray.bmp   `グレースケール画像`  
│   ├── img_binarization.bmp `2値化画像`  
│   ... img2, img3も同様  
├  
├ histogram/  
│   └── img_hist.pdf   `ヒストグラム`  
└ Makefile      `Makeファイル`
```

使い方

準備

- srcフォルダにbmpファイルをおいてください。

コンパイル方法

```
make  
./1st bitmap_filename
```

`bitmap_filename` は `src` ディレクトリに置いた画像の名前です

ex) `img`, `img2`, `img3`

出力

- `dst/` -> 処理画像
- コンソール(`gnuplot`) -> グラフ
 - `gnuplot`からPDF出力をしたグラフを `histgram` ディレクトリへおいてあります。

注意

- グラフは `gnuplot` で生成しています。
- トップダウン方式のbmpファイルは読み込めません。